

国語

小学校第6学年 「読むこと」 『平和のとりでを築く』 一大牟田 稔一

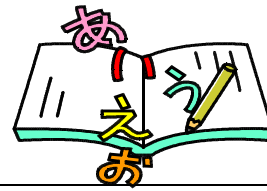
●これは、「埼玉県小学校教育課程指導資料 平成22年3月」のP11～12を基に、本資料集の趣旨にそって、作成したものです。
 「読むこと」指導事項ウ「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえたり、事実と感想、意見などとの関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりすること。」を言語活動例イ「自分の課題を解決するために、意見を述べた文章や解説の文章などを利用すること。」を通して指導するものです。展開中の1から4は以下の【課題解決のための授業改善の視点】のそれぞれの取組であることを表します。

【課題解決のための授業改善の視点】

- 1 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動
- 2 目的を明確にした相互交流
- 3 読書へつなげる学習過程
- 4 内容が明確で授業に生かせる宿題

【本時の目標】

- (1) 文章の内容を的確に押さえて要旨をとらえることができる。
- (2) 大事なことを押さえ、短くまとめることの大切さに気付くことができる。



展開	学習活動	学習内容	○指導・援助と評価の工夫 ◎学力向上プランとの関連 ★教育に関する3つの達成目標との関連	時間																									
1 4	<p>●一斉指導 本時の流れを説明した後、宿題(コラム視写)で取り組んでいる成果を、新聞コラム冒頭部分視写を知る。</p> <p>授業の冒頭に当該授業での学習の見通しを児童に理解させることは、児童の学習意欲を向上させます。</p> <p>2 授業日直前の新鮮な新聞のコラムの冒頭部分(3行前後)のひらがな文視写を行う。 ・新聞のコラムの全文ひらがな文(一部漢字)を漢字仮名交じり文に視写する。</p> <p>児童にも理解できるタイムリーな話題を取り上げると効果的です。ここでは、北朝鮮による韓国の哨戒艦沈没を取り上げることで、「展開」につなげます。</p>	<p>内容が明確で授業に生かせる宿題を出しましょう。これは、新聞のコラムの視写を宿題に出した場合の例です。</p> <p>「新聞コラム冒頭部分視写」</p> <p>○漢字を書き文や文章の中で使うこと。</p> <p>観とうが「悪魔の道具」が「悪事」を誘う人</p> <p>んあがあく魔のささやきなどい んあがあく魔のささやきなどい んあがあく魔のささやきなどい</p> <p>○満点だった児童に挙手をさせ、児童一人一人の地道な努力と工夫を具体的に称える。</p>	<p>○指導・援助と評価の工夫 ◎学力向上プランとの関連 ★教育に関する3つの達成目標との関連</p> <p>◎1行13字前後を30秒で書けることを目標とし、そのペースで意味のまとまりごとに正確に視写している。</p> <p>★平易な文章の中で使われることの多い語句の実際を知り、漢字で表記することの便利さや効果を実感している。</p> <p>★学年別漢字配当表で5年生までの漢字のどれくらいが書けるか、自分で評価している。</p>	5'																									
1	<p>●一斉指導 3 本時は、文章全体の内容を振り返り(前時までの復習)要旨をまとめる時間であることを、学習課題を確認することによって知る。</p>	<p>「平和のとりでを築く」の要旨を100字以内でまとめよう。</p> <p>学習課題を明確に示すことで見通しを持たせましょう。指導案、板書、児童生徒のノートには学習課題が必要です。</p> <p>要旨とは、書き手が文章で取り上げている内容の中心となる事柄、あるいは、それについての書き手の考えの中心となる事柄などであることを再確認(既習教材の内容を短くまとめて児童に思い出させるなど)することで、課題が明確になります。</p>	<p>○単元13時間扱いの中の6時間目であることを知らせる。</p> <p>求めている分量をはっきり示すことが子どもの学習意欲を喚起します。</p>	2'																									
4	<p>前時までの復習をする。 中心となる語</p> <table border="1"> <tr> <td>①原爆ドーム</td> <td>はじめ(原爆ドーム)</td> </tr> <tr> <td>②物産陳列館</td> <td>なか1(物産陳列館)</td> </tr> <tr> <td>③多くの市民に親しまれていた</td> <td>なか2(原爆ドーム)</td> </tr> <tr> <td>④原子爆弾</td> <td>なか3(保存するか取りこすか)</td> </tr> <tr> <td>⑤れんがと鉄骨の一部</td> <td>なか4(世界遺産)</td> </tr> <tr> <td>⑥保存するか取りこすか</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑦原爆ドーム永久保存</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑧補強工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑨世界遺産</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑩未来に向けて大切に守っていくため</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑪決定の知らせ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑫核兵器は不必要だと警告する記念碑</td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑬平和のとりでを築く</td> <td></td> </tr> </table>	①原爆ドーム	はじめ(原爆ドーム)	②物産陳列館	なか1(物産陳列館)	③多くの市民に親しまれていた	なか2(原爆ドーム)	④原子爆弾	なか3(保存するか取りこすか)	⑤れんがと鉄骨の一部	なか4(世界遺産)	⑥保存するか取りこすか		⑦原爆ドーム永久保存		⑧補強工事		⑨世界遺産		⑩未来に向けて大切に守っていくため		⑪決定の知らせ		⑫核兵器は不必要だと警告する記念碑		⑬平和のとりでを築く		<p>文章構成(小見出し)</p> <p>○左の表(文章構成を1つの表にまとめたもの)を黒板に貼り、以下の3点が教科書に書き込まれているかを確認する。個人で確認させた後、相互点検させる。</p> <p>・形式段落①～③が書かれている。 中心となる語に囲み線が引かれている。</p> <p>本時のねらい(指導事項ウ)を達成するためには様々な解決方法が考えられますが、本時は学習課題解決につながる既習事項(意味段落ごとのまとめ)を基に、熟考させ(中心となる大切な事柄は何かをじっくり読み取らせる)、自分の要旨をまとめさせた後に、4人一組で書いたものを互いに交流し、最後に学級全体で「要旨例」を確認するという言語活動を仕組みました。</p>	3'
①原爆ドーム	はじめ(原爆ドーム)																												
②物産陳列館	なか1(物産陳列館)																												
③多くの市民に親しまれていた	なか2(原爆ドーム)																												
④原子爆弾	なか3(保存するか取りこすか)																												
⑤れんがと鉄骨の一部	なか4(世界遺産)																												
⑥保存するか取りこすか																													
⑦原爆ドーム永久保存																													
⑧補強工事																													
⑨世界遺産																													
⑩未来に向けて大切に守っていくため																													
⑪決定の知らせ																													
⑫核兵器は不必要だと警告する記念碑																													
⑬平和のとりでを築く																													
5	<p>①は範読、②③は一斉音読、④～⑬は黙読して、文章全体を捉え直す。</p>	<p>○中心となる語の発見 ○小見出しの付け方</p> <p>○文章構成 ○事実と感想、意見との関係</p> <p>〔書く手引き〕</p> <p>(要旨) 原爆ドームは、</p>	<p>「まず書かせること」をねらいとする時には、簡単なものでも「手引き」は極めて有効です。</p>	12'																									
6	<p>学習課題「『平和のとりでを築く』の要旨を100字以内でまとめよう。」に「書く手引き」に従って書く。</p> <p>範読するところ、黙読させるところ、音読させるところは教材や、その授業のねらいによって違います。例えば、単元の最初で児童に文章内容を理解させたい時は範読、授業の活性化を主に図りたい時は音読、学習内容の定着を図る時には黙読が効果的です。</p>	<p>組 []</p> <p>記念碑なのである。</p>																											

4人以下の小グループで、交流の場を設定し、言語活動の充実を図りましょう。5人以上のグループでは、発言しない児童が出てきます。

- 相互交流(4人一組)
7 書いた要旨を4人一組で黙って交流する。
- 8 4人の中で、誰のものが要旨としてふさわしいか、その理由も考えて1人を決める。
- 一斉指導
9 液晶テレビ(ICT活用)に映し出された対照的なまとめ方の2つの班の発表を聞く。

評価場面は、本時の目標にかかわった内容、場面とし、目標と指導と評価と評価に基づく指導を一体化させることが重要です。

伸ばす手立ても指導者は忘れてはいけません。

「書いたものを交流すること」は新学習指導要領で新設されました。

評価場面1

〈具体的評価規準〉アの② エの
〈評価方法〉
・発表内容、ノートによる観察
・机間指導による観察
〈手立て〉
・十分に書いている生徒には、別のまとめ方に挑戦するように指導する。
・書けていない児童には、中心となる語を配置した〔書く手引き〕を渡し、その生徒の理解に応じたヒントを与える。

評価場面に限らず、指導案に予め、展開に即して具体的な記述しておくことが重要です。

評価規準に達していない児童生徒には具体的な手立てを講じましょう。

◎誰のものが要旨としてふさわしいか、その理由も考えることを明確に指示した上で、一言も話さずに読ませる。回すタイミングは教師が指示する。【ア① エ②】

◎発表した生徒一人一人のよさを具体的に称え、気が付いた点も添える。

7'

8'

5'

2

1

3

要旨例1 99字 原爆ドームは平和を築き、戦争をいましめるための建造物としてユネスコの世界遺産への仲間入りを果たした。未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけない、むしろ不必要だと世界の人々に警告する記念碑なのである。

要旨例2 96字 原爆ドームは核兵器は不必要だとする記念碑の意味を表している。平和を祈る人々のため、未来へ向けて大切に守っていくために、世界遺産として、ユネスコの仲間入りを果たし、今後も大切に保存されるだろう。

10 教師の説明を聞く。

- 要旨のとらえ方
・筆者の考えを押さえること
・中心となる語を押さえること

指導者は学習課題の答えを指導案に明確に示しましょう。

★教師や級友の話をしっかり聞かせ、本時のねらいについて自分の言葉で振り返る準備をさせる。

11 本時のねらいについて振り返る。

本時のねらい 「平和のとりで」の内容を的確に押さえて、要旨をとらえることができる。コラム「西時のききかきなど」の「平和のとりで」

◎「読むこと」の指導事項ウについて、児童の言葉で語られるように指導助言する。

12 導入で使った新聞のコラムの冒頭部分の続きの範読を聞き、教師の解説を聞く。

読書へつなげる学習過程を常に意識しましょう。ここでは、新聞のコラムの紹介に留まっていますが、発展的な読書を単元計画の中に位置付けることも大切です。

小5、6年「読むこと」の言語活動例には「編集の仕方や記事の書き方に注意して新聞を読むこと」とあります。

授業の最後に児童生徒が当該授業で学習した内容を振り返る機会を設け、学習内容の確実な定着を図りましょう。本時では、大事なことを押さえ短くまとめることの大切さについて、児童の言葉で語られたいものです。

板書計画

とを仲た
と世界
のとり
の使を
果つた
はした
いたユ
けなネ
い知ス
の、戦
む世の

■要旨例
原爆ドームは平和を築き、戦争をいましめるための建造物としてユネスコの世界遺産への仲間入りを果たした。未来の世界で核兵器を二度と使ってはいけない、むしろ不必要だと世界の人々に警告する記念碑なのである。

この表は、前時までの学習内容をまとめたものですが、要旨で使用する「中心となる語」に下線を付けながら説明します。

中心となる語	文章構成(小見出し)
①原爆ドーム	はじめ(原爆ドーム)
②物産陳列館	なか1
③多くの市民に親しまれていた	(物産陳列館)
④原子爆弾	なか2
⑤れんがと鉄骨の一部	(原爆ドーム)
⑥保存するか取りこわすか	なか3
⑦原爆ドーム永久保存	(保存するか取りこわすか)
⑧補強工事	なか4
⑨世界遺産	(世界遺産)
⑩未来に向けて大切に守っていくため	
⑪決定の知らせ	
⑫核兵器は不必要だと警告する記念碑	まとめ(記念碑)
⑬平和のとりでを築く	むすび(平和のとりで)

※前時にまとめた模造紙を貼る。

板書によってその1時間の学習を振り返るためにも、板書計画とそれに基づく充実した板書が有効です。

文章全体の構成

「平和のとりでを築く」の要旨を100字以内でまとめよう。

筆者の考えを受けとめ、自分の考えを伝えよう
平和のとりでを築く
大牟田 稔

実際の板書と同様の板書計画を立てましょう。教師が1時間の授業の見通しを明確にするためには、板書計画を立てることが極めて有効です。



参考 埼玉県小学校教育課程指導資料(埼玉県教育委員会) 朝日新聞 天声人語 2010年5月25日(火)付

